

創意工夫賞に大曲さん(森鉄)ら

県内4社から7人



創意工夫労働賞の表彰を受けた県内企業の受賞者ら
—県庁

技術改良などを通して職場の課題解決に貢献した個人・団体を文部科学大臣が表彰する「創意工夫労働賞」に、森鉄工(鹿島市)の大曲博文さん(37)ら佐賀県内の4社から7人が選ばれた。安全性や効率性の向上につながった取り組みが評価された。

森鉄工によると、同社が創意工夫労働賞を受ける

のは初めて。大曲さんは、従来は手作業で取り除いていた、溶接作業で発生するスラグ(金属や酸化物のごみ)を自動で取り除く装置を開発した。過酷な作業に従事する必要がなくなり、年間約300時間の作業時間削減につながった。

同社の鶴田修仁さん(31)、北祐貴さん(31)は機

械の組み付け作業を効率化する新しい器具を考案し、安全性の向上や作業時間の短縮に貢献した。3人は「全社的に作業を改善しよう」という雰囲気があり、後押しになった。社内だけでなく、他企業にも知ってもらい参考にしてもらえれば」と喜びを語った。

渡した。(大橋諒)
▽他の受賞者と業績は次の通り(敬称略)
今山誠一郎(小糸九州、佐賀市)「クロムスパッタ治具共通化の考案」▽中村哲也(同)「金型温調機の水位確認用フロートスイッチ改良」▽目黒健(ダイヤク、鳥栖市)「クレーン昇降ワイヤ交換の安全性と作業性の改善」▽船津秀一(トヨタ紡織九州、神埼市)「回転式テープ剥がし機の考案」